

## 大志の学び舎

## 世田谷区立太子堂小学校



『教師は授業 家庭は愛情 地域で育つ 9年間』

## 1%を誰かのために！

校長 廣瀬 維謙

## 2月の目標

人格の完成を目指して  
「やりぬく心」

## &lt;安全&gt;

・火事から身を守ろう

## &lt;保健&gt;

・かぜに注意しよう

## &lt;給食&gt;

・きまりを守って楽しい  
給食にしよう

## &lt;挨拶&gt;

・相手の顔を見て  
あいさつをしよう

2月3日が節分で、2月4日が立春です。立春とは「春が立つ」と書き、これから段々と暖かくなってくるという意味ですが、実際は一年で一番寒い時期になります。そのため、インフルエンザなどの感染症の予防に向けて、毎朝の健康観察やうがい・手洗いの励行、教室の換気など、学校内での体調管理には十分留意しながら、子どもたちが元気に過ごすことができるよう努めてまいります。

さて、以前こんな詩を新聞で見つけました。

「99%は自分のため、家族のために生きています。でも、残りの1%は誰かのために生きてみたい、1%と思うとちょっと楽になります。1%ならできそうに思えます。誰かのために汗をかくのもいい。みんなが1%誰かのために動き出せば、世の中はもっと温かくなります。」

ちょっととした親切や思いやり、心遣い、ボランティアでの活動など、考えてみるとすてきな1%が、身近な中でいろいろ考えられます。例えば、太子堂小学校の周りでもさり気なく目立たないところで1%を実施してくださっている方々が、たくさんいらっしゃいます。子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう支えてくださっているPTAの方々、いつも安全に配慮しながら子どもたちを温かく見守っていただいている町会や児童館、警察の皆様。また、授業などに快く協力や支援をいただいている地域の方々など、本校は本当に恵まれています。

先日の1月21日（水）と22日（木）には代表委員会を中心にユニセフ募金を行い、温かい心の寄付金を送ることができるよう、全校に呼び掛けていました。世界中の多くの子どもたちにワクチンや学習用具などが届くように、させられているとなれば義務感ですが、自分からすすんで取り組むと何となく心が温かく、元気になってきます。同じことをするなら、すすんで取り組む方がよい気持ちになるはずです。

そんなすてきな1%を子どもたち一人一人が、教室や学校の中で実践できるのはもちろんのこと、家庭や地域の中でも自主的に実践することで、温かい雰囲気づくりに貢献するとともに、周りの人たちに感謝の気持ちを表せるように育てていきたいと考えています。

そして、何事にも自主的に取り組むことで、達成感や充実感が味わえ、それが次の活動へのエネルギー源となり、子どもたちをさらに成長させることでしょう。

詩は、最後にこう締めくくられています。

「不思議なことに誰かのために動いた1%は、やがて自分のところに、ブーメランのように不意に戻ってくることがあります。人生はうまくできています。」

今月も、どうぞよろしくお願ひします。

## やりぬく心

自分の目標に向かい、努力し続けていますか？

毎日、家で音読を続いているよ。

自分でやると決めたことを、最後までやり遂げるよ。

時々くじけそうになるけれど、一歩一歩がんばるよ。

「人情のぬくもりを届けて」世田谷区教育委員会

〒154-0004

世田谷区太子堂5-7-4

電話 03(3413)4621

FAX 03(3413)4799

Email: dai004@setagaya.ed.jp